

古いRC造建物を対象とした耐震性評価法の高度化

【キーワード】 鉄筋コンクリート(RC)造, 耐震性, 柱の崩壊実験
非線形骨組解析

保木 和明
建築デザイン学科 准教授

【研究概要】

近い将来起こるであろう大地震に備えて, 古い(特に1971年以前の基準で設計された)鉄筋コンクリート(RC)造建物の耐震性を把握しておくことは重要なことである。古いRC造建物の耐震性を評価する方法として耐震診断基準があるが, さらに詳細な検討を行うためには非線形骨組解析を行うことが必要となる。その際, 古いRC造建物に多く存在する脆性的な柱の挙動を考慮しなければならない。

そこで, 本研究では, 古いRC造建物の耐震性を把握することを目的として, 対象建物の柱を想定した**崩壊実験の結果に基づき柱の荷重変形関係を決定**し, その荷重変形関係を用いた**非線形骨組解析により耐震性を評価**することを試みた。

